

## 公益財団法人日本刀文化振興協会

### 令和5年度事業計画

(令和5年12月1日～令和6年11月30日)

#### 1. 公益目的事業（刀職者を対象とする事業）〈新公1-1〉

##### ① 第15回刀職者実技研修会

会期：令和6年9月14日(金)～16日(日)の3日間

会場：坂城町中心市街地コミュニティセンター（長野県）

参加：6職種各5名程度 計約30名を予定

内容：日本刀に係る伝統技術の内、刀身作成・研磨・拵下地・金具作成・柄巻きの5職種を対象に、高度の専門職方を育成する為の技術・知識・意識教育。同時に講習の妨げにならない範囲で一般に公開し、日本刀及びこれに係る伝統技術の理解に供する。

##### ② 日本刀に関わる人材育成技能研修事業（刀剣修復特殊技能研修事業）〈新公1-1〉

（研磨・白鞘・白鞘・白銀・刀装具）※文化庁育成事業

会場（開催時期）：佐野美術館又は坂城町鉄の展示館（日程未定）

講師：予定5名 研修生：予定6名

##### ③ 第14回新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会〈新公1-2〉

※出品作家の繁忙期に配慮し、例年より、開催時期を遅らせ、出品数増加を計る。

主催：公益財団法人日本刀文化振興協会長野県埴科郡坂城町、坂城町鉄の展示館

共催：信濃毎日新聞社ほか

部門：作刀、刀身彫刻、研磨、外装、押形

会期：令和6年6月8日(土)～9月16日(日) 坂城町鉄の展示館（長野県）

後援：関係省庁、長野県ほか（予定）

授賞：（特別賞）大臣賞、長野県知事賞、信濃毎日新聞社賞、坂城町町長賞ほか

内容：作刀・彫金・研磨・刀装等日本刀に係る全ての伝統技術を対象に作品を公募し、厳正な審査を実施、優れた技術を顕彰し、高水準のコンクールとする。

更に、受賞作品を展示すると共に、作品集やホームページにて広報し、現代の高い技術と日本刀文化をアピールする。

作品受付 令和6年4月20日(土)～4月21日(日)

作品撮影 同 4月22日(月)～4月23日(火)

審査会 同 4月24日(水)～4月26日(金)

運営委員会 令和5年12月8日(金)

審査員選考委員会 令和5年12月

審査員会議 令和6年3月29日(金)

授賞式及び懇親会 同 6月8日(土)※会期初日を予定

- ④ 第17回お守り刀展覧会（後援） 主催：全日本刀匠会 <新公1-2>  
内容：全日本刀匠会会員製作の新作刀及び外装の審査・授賞・展観  
後援内容：後援名義の交付、刀文協関係審査員の派遣等  
会場（予定）：備前長船刀剣博物館、坂城町鉄の展示館

## 2. 公益目的事業（不特定一般向け事業）<新公2-1>

### ① 日本刀・刀装具鑑賞会、講演会、講習会

- ・公開鑑賞会

開催回数：（予定）年2回

内容：日本刀・刀装具・拵等を、会員に限らず一般にも公開し広く鑑賞して貰う鑑賞の作法を教授したり、作品の解説を通して日本刀文化の普及に努めることとする。併せて、必ず初心者を対象とした解説も加える。

- ・特別鑑賞会（日本刀研究委員会鑑賞会）

開催回数：（予定）春1回の年2回

会場：目白庭園「赤鳥庵」・上野「応挙館」など

内容：会員20名程度とし、日本刀・刀装具・拵等ともに名品を揃え、より専門的な解説を行い目の肥えた刀剣ファンの研究意欲に応えられる内容とする。

- ・坂城町「日本刀講座」

春・秋の年2回開催。日本刀ワークショップ開催。

### ② 日本刀に関する国際交流事業<新公2-3>

- ・セルビア共和国展覧会開催

令和6年9月 首都ベオグラード「コンテポラリーアートセンター」において現代作家の刀剣を展示。併せて刀職者による日本刀講座・実演会を実施予定。

### ③ 鍛錬道場見学会<新公2-4>

- ・14回展日程に組み込んだものを計画。

## 3. 収益事業

- ・新作日本刀・刀装具等の製作販売及び保存・修理の受託<新収1>

長野市（松代文化施設管理事務所）、まちづくり坂城（坂城町）、紹介及び直接の問い合わせによる研磨・修理など「日本刀お手入れ事業」を行い、百貨店等委託販売先の拡大をはかっていく。

- ・「新作日本刀証明証」発行事業の拡大<新収2>

## 4. その他

- ・文化庁に対し現代刀の海外への持ち出しが容易になるよう「新作日本刀証明証」を活用した提案を行う（現在の輸出鑑査証明書に代わるもの）

- ・ 広報活動の強化（刀文協通信やツイッターなどの発信強化、わかりやすさの向上のため HP の改訂）
- ・ 一般の方からの「発見届」に関する相談に対応する。（電話・Email による）
- ・ 新規会員増強（役員全員での新規会員勧誘及び事業協賛先発掘）

以上